

科目区分	専門教育科目	科目名	保育実習Ⅰ		科目コード	20Y720	担当者	荒木 正平、織田 芳人、中村 浩美、本村 弥寿子、福井 謙一郎、南條 恵、船勢 肇、山中 慶子、高橋 秀樹				
対象学生	幼児教育学科 1年生・2年生		学期区分	1年後期・2年前期		単位数	4	担当形態	複数			
			授業区分	実習								
科目			施行規則に定める科目区分又は事項等				卒業要件	選択				
							免許・資格要件	保育士必修				
科目の主題							学修成果との関連（大◎、中○、小△）					
大学で修得した内容をふまえ、児童福祉施設などの役割や機能を、観察や子どものかかわりを通して具体的に理解する。また、保育の計画、実践、記録、自己評価を経験し、保育士の業務内容や職業倫理について総合的に学ぶ。							1. 「 尽心 」 誠実な人柄と 人間力	2. 「 創造 」 高度な知性と 創造力	3. 「 実践 」 明確な意思と 実践力			
科目の到達目標							① 誠実性・真摯性	② 多様性・協働性	③ 知識・技能	④ 表現力・創造断力	⑤ 実行力・自立性	⑥ 就業力・貢献力
1.	保育所・施設の社会的役割や具体的活動などを理解する						◎	○	◎	○	◎	○
2.	保育所・施設の概要や1日の流れを理解する											
3.	子どもの様子を把握し、子どもへの理解を深める											
4.	保育者の仕事と役割について把握し、理解する											
5.												
授業方法							成績評価の方法と割合					
学外実習（児童福祉施設等1年次12月または3月に10日間、保育所実習2年次8月に10日間）							受講態度（50%） 実習先の評価（50%）					
課題等への対応							授業外学修時間					
実習事後指導、実習報告会を行い、保育教職実践演習で振り返りを実施している。							60分					
回数	授業計画						学習課題（予習・復習）					
	<p>1. 施設 実習期間：1年次 12月又は3月 10日間</p> <p>児童福祉施設等（保育所以外）で10日間、利用者と生活を共にし、食事や身の回りの支援、また各種作業を共にすることを通して、利用者の実態をりかいすることに努め、施設や利用者の実状に応じた働きかけの大切さを学ぶ。</p> <p>a. 現場における基本的な勤務態度・姿勢を学ぶ。 b. 働きかけの姿勢や技術を学ぶ。 ・集団への働きかけ（集団の把握） ・個々への働きかけ（個別への対応） ・居室内の整備 ・職員の協力・連携など c. 記録の書き方を学ぶ。 ・利用者との関わりを反省し振り返る</p> <p>2. 保育所 実習期間：2年次 8月 10日間</p> <p>1) 見学・観察実習／参加実習 a. 実習保育所について理解する。 実習園の保育方針や特色を理解する。また、1日の流れ及び施設・設備の状況について把握する。 b. 乳幼児と触れ合う 乳幼児の様子を観察したり触れ合うことにより、乳幼児の年齢や発達状況を把握する。 乳幼児と保育者との関わりの様子を学ぶ。</p> <p>2) 部分実習／総合実習 担当保育者の指導のもとに、実習生が指導計画を立て、準備→展開→評価に至る保育活動を主体的に担当し、全般的な技術の習熟をはかる。</p>						<ul style="list-style-type: none"> 希望実習園調査 実習園事前訪問報告書の作成 実習課題の記入 園長講演会報告書の記入 実習報告書の記入 <ul style="list-style-type: none"> 実習園事前訪問報告書の作成 実習課題の記入 園長講演会報告書の記入 実習報告書の記入 					
試験	定期試験を実施しない											
教科書	「教育・保育実習の手引」「実習記録ハンドブック」				受講生へのメッセージ		保育実習は、あなたが目指している職業を実際に確認する機会でもあります。保育実習指導Ⅰで学んだ内容をふまえ、実りのある実習になるように頑張ってください。					
参考書等	なし											